

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは？

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に對して考え方を聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



ページ	質問者	質問内容	日程	ページ	質問者	質問内容	日程
12	かとう 加藤 まさる 優	<u>1.避難所の環境改善と通信確保について</u> <u>2.高齢者の聴覚補助器等の積極的な活用の支援について</u>		3/4 午前	だいもん 大門 よしあす 嘉和	<u>1.当初予算について</u> <u>2.令和7年度事業について</u>	3/5 午前
13	さかい 酒井 ゆきこ 友季子	<u>1.ふるさと納税について</u> <u>2.DX化について</u> 3.農業支援事業について		15	かえりやま 帰山 あきお 明郎	<u>1.さばえ街づくり協議会について</u> <u>2.鯖江駅周辺の取組について</u> 3.ハピラインふくいについて	3/5 午後
	えばた 江端 かずたか 一高	<u>1.嚮陽会館複合交流施設および周辺の整備について</u> 2.公園の利活用について 3.第2次鯖江市消費者教育推進計画について 4.第6次鯖江市男女共同参画プランについて		3/4 午後	ほりかわ 堀川 ひでき 秀樹	<u>1.越前漆器産地の振興策について</u> 2.福祉避難所について	
	きむら 木村 あいこ 愛子	<u>1.鯖江市のまちづくりについて</u> <u>2.人口減少に対応できるまちづくり</u> 3.ふくい嶺北連携中枢都市圏における事業推進について		16	とうい 東井 ただよし 忠義	<u>1.公的医療保険の高額療養費制度における限度額の引き上げについて</u> <u>2.引きこもり支援について</u> <u>3.鯖江市社会福祉協議会に対する指導について</u> 4.民間保育所における保育士の待遇改善について	
14	ふくはら 福原 としひろ 敏弘	<u>1.令和7年度当初予算について</u>		16	たなか 田中 よしゆき 良幸	<u>1.市内の土壤汚染について</u> <u>2.ファミリーシップ制度について</u> 3.ハピラインふくいのキセル乗車について	3/6 午前
	にしの 西野 ゆか 有香	<u>1.原子力災害対策について</u> 2.女性起業家の支援について 3.流産や死産、中絶で大切なお子さんを亡くされた方への配慮について		17	そら 空 よしひで 美英	<u>1.有事の際の対応について</u> 2.吹奏楽のまちさばえ発信事業について 3.動物愛護の観点から	
	はやしした 林下 とよひこ 豊彦	<u>1.「未来を担うひとづくり」について</u>	3/5 午前	17	つちだ 土田 ひかる 光	<u>1.不登校対策について</u> <u>2.奨学金返還支援制度について</u> 3.鳥獣害対策について	

*質問内容のうち、青字で下線が引かれたタイトルは、次ページ以降に詳細を掲載しています。



かとう まさる こうめいとう
加藤 優 [公明党]



避難所の環境改善と通信確保について

問 スフィア基準に基づくトイレの在り方は。

答 副市長 指定避難所である市内地区公民館・小中学校の25施設のトイレの数は、洋式・和式・男性の小便器を合わせて1,266基が設置されているほか、プラスチック段ボール製やラップ式などの簡易トイレも178基を備えている状況である。市の避難者の想定数は5,200人であり、避難者20人に対して1基というスフィア基準を当てはめると260基が必要である。現時点でのトイレの数は小便器を除いても950基余りとなり、必要数は今のところ十分満たしていると考える。

問 指定避難所等への衛星インターネット機器等の新技術の導入は。

答 本部と現地を結ぶ情報収集手段については、携帯電話や職員の派遣など、従来の手段しか想定されていないのが現状である。衛星インターネット通信サービスや公共安全モバイルシステムなどの新技術は、こうした事態に活用できる有効な手段であると考える。市での導入についても、今後の動向を注視しながら研究を進めていく。

高齢者の聴覚補助器等の活用の支援について

問 市役所窓口への軟骨伝導イヤホンの導入について。

答 軟骨伝導イヤホンは、個人情報を扱う全国の自治体や金融機関での導入が進んでいると聞いている。導入については、耳の聞こえにくい方との意思疎通を図る上での必要性を考慮し、今後、窓口での状況を確認しながら検討していく。

